

## 令和6年第8回二戸市教育委員会定例会

### 議事日程

令和6年8月22日（木）  
午後2時00分 開議  
二戸市役所1階会議室

日程第 1 会期の決定

日程第 2 一般報告

日程第 3 議案第 1号 二戸市シビックセンター運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

日程第 4 議案第 2号 市議会定例会提出議案への同意について  
令和6年度二戸市一般会計補正予算（第4号）（うち教育委員会分）

日程第 5 議案第 3号 教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価について

日程第 6 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について

# 令和6年第8回教育委員会定例会 会議録

1 日 時 令和6年8月22日（木） 午後2時00分

2 場 所 二戸市役所1階会議室

## 3 会議に出席した委員

教育長	加藤 暢之	(1番)
教育委員	佐々木 千穂	(2番)
教育委員	荒谷 直大	(3番)
教育委員	阿部 歩	(4番)
教育委員（教育長職務代理者）	槻舘 行男	(5番)

※教育長及び委員の過半数の出席があるため会議は成立  
（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項）

## 4 説明のため会議に出席した職員

教育部長	立花 幸博
副部長兼教育企画課長	長畑 宏範
教育企画課学校教育企画監	坂本 真
生涯学習課長	漆田 千賀子
図書館長	土屋 美由紀
文化財課長	柴田 知二
学校給食センター所長	工藤 裕介

## 5 職務（記録）のために会議に出席した者の氏名

教育企画課主査兼教育企画係長	相馬 剛
教育企画課主任	菅原 恵美子

## 6 会議の大要

- (1) 議題等 別紙議事日程のとおり
- (2) 議事の大要 開会 午後2時00分

加藤教育長                   ただいまの出席者は5名です。  
定足数に達しておりますので、会議は成立しています。  
ただいまから、令和6年第8回二戸市教育委員会定例会を開会  
いたします。  
事務局、本日の傍聴の申し出はありますか。

長畑教育企画課長           ありません。

加藤教育長                   はじめに、会議録の承認を行います。  
令和6年第7回二戸市教育委員会定例会の会議録につきましては、  
すでにお渡ししておりますが、字句の訂正を除き、承認してよ  
ろしいでしょうか。

委員一同                    異議なし。

加藤教育長                   それでは、承認いたします。なお、字句の訂正がございましたら、  
後ほど事務局までお伝え願います。  
また、本日の定例会終了後、出席委員は、二戸市教育委員会会  
議規則第30条に基づき、会議録に署名をお願いいたします。

## **日程第1 会期の決定**

加藤教育長                   議事日程に従い、会議を進めてまいります。  
日程第1「会期の決定」をお諮りいたします。  
会期は、本日1日間にしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員一同                    異議なし。

加藤教育長                   ご異議ないものと認め、会期は本日1日間といたします。

加藤教育長                   議事に入る前に、本日の会議の非公開についてお諮りいたしま  
す。  
本日審議する議案のうち、議案第1号は「人事に関する事件」  
に該当いたしますので、当該議案の審議については非公開にした  
いと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

委員一同                    異議なし。

加藤教育長                   ご異議がないものと認め、1件の議案については、非公開とす  
ることと決しました。

## 日程第2 一般報告

加藤教育長

次に、日程第2「一般報告」を議題といたします。

1ページをお開きください。

❖ 7月26日（金）

絵本贈呈式について報告

❖ 7月29日（月）

槻蔭舎きぼう塾（大学訪問）について報告

❖ 8月2日（金）

渋民中学校芸術祭について報告

❖ 8月7日（水）

槻蔭舎きぼう塾（キャリア教育）について報告

❖ 8月12日（月）

第41回全日本少年軟式野球大会 ENEOS トーナメント（福岡三葉クラブ）について報告

❖ 8月18日（日）

二戸地区市民水泳大会について報告

報告は以上です。何か質問などはありませんか。

委員一同

なし。

加藤教育長

ないようですので、日程第2「一般報告」は終了いたします。それでは、これより非公開議案の審議に入ります。

## 日程第3 議案第1号「二戸市シビックセンター運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」

加藤教育長

日程第3 議案第1号「二戸市シビックセンター運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」を議題といたします。

議案第1号の説明をお願いします。

漆田生涯学習課長

【資料説明】

※本協議事項は、二戸市教育委員会会議規則第10条第1項ただし書きの規定により秘密会として審議したため、同条第4項に基づき審議内容については記載しない。

[原案可決]

## 日程第4 議案第2号「市議会定例会提出議案への同意について」

加藤教育長 日程第4 議案第2号「市議会定例会提出議案への同意について」を議題といたします。  
議案第2号の説明をお願いします。

長畑教育企画課長 【資料説明】

加藤教育長 説明が終わりました。質疑を許可いたします。

荒谷委員 歳出のところで、教育研修費のネットワークアセスメント調査業務委託料とあるのですが、こちらは調査業務のみですか、それともそれに伴う改修も入っているのでしょうか。

長畑教育企画課長 今回は調査のみということでして、調査の結果、改修が必要な場合は別途予算を計上するものでございます。

荒谷委員 分かりました。

加藤教育長 他にございますか。

委員一同 なし。

加藤教育長 それでは、議案第2号「市議会定例会提出議案への同意について」は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

加藤教育長 ご異議ないものと認め、議案第2号は原案のとおり可決いたします。

#### **日程第5 議案第3号「教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価について」**

加藤教育長 日程第5 議案第3号「教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価について」を議題といたします。  
議案第3号の説明をお願いします。

長畑教育企画課長 【資料説明】

加藤教育長 説明が終わりましたので、質疑を許可いたします。何かございましたらよろしく願いいたします。

槻館委員 これはまとめて意見を出してよろしいですか。それとも小分けに

した方がよろしいですか。

加藤教育長 一つずつでお願いします。

槻館委員 分かりました。では始めに、検証委員からも多くの意見が出たようですが、A B C Dの評価そのものを変更したところはありませんでしょうか。

長畑教育企画課長 評価のA B C Dのところの変更はありません。

槻館委員 8ページのコミュニティスクール導入のところ、「実践交流」と「研修」そのものは同じものを言っているのでしょうか。それともコミュニティスクールの理解を深めるための研修なのでしょうか。果たして実践交流になっているのかどうか、その辺を伺います。

長畑教育企画課長 研修につきましては、県教委で開催したものに教諭や協議会の委員が参加して、理解を深めたと認識しているところです。実践事例につきましては、各学校で活動についてまとめたものを作っており、冊子などありますので、そういったものを活かしていければと思って記載をしているところです。

槻館委員 踏み込む時に難しさがあると思います。なかなか一体となって進めていくようにはなっていないよう。時間をかけて進めていかなくてはならないと思います。数値目標自体を考え直さなくてはならないのではないかと思った次第です。

長畑教育企画課長 計画の目標の立て方に課題があるということは、点検評価委員からもご指摘があったところです。当初は全校に協議会を設置することを第一目標に設定していましたが、皆さんの協力のおかげで4年度で全校に設置されました。ただ設置だけで満足ではなく、当然さらに踏み込んで地域とともに学校づくりをしていくということは支援しながら進めていかなければならないと思っています。

仁左平小学校では、地域と学校の間立つ方がいるのである程度活動も進んでいます。他はなかなか意見交換、交流はされていないところではありますが、実質的にはこれまでの流れの中で、花壇づくりや清掃などの活動はされているので、そこがもっとうまくいこう、中間に立つ方を育てながら活発にしていければと思っております。

加藤教育長 学校運営協議会、コミュニティスクール、地域学校協働本部、教育振興運動、家庭教育学級、学校協働活動推進委員…それぞれが何か分からなくなります。もう一度端的に教えていただきたいです。

長畑教育企画課長 「学校運営協議会」は保護者や地域住民、学校を代表する方、それぞれが組織する協議会のことです。それまでの「学校評議員」は意見を学校側が聞いて参考にして学校運営に役立てていましたが、一定の権限を持って学校運営に関わっていけるという違いがございます。「コミュニティスクール」は学校運営協議会が設置されている学校を指します。

加藤教育長 コミュニティスクールの実践とはどんな内容ですか。

長畑教育企画課長 学校運営協議会の会議の場で意見を言い合って、どう運営するかを考えることが活動になると思います。それを地域の方に声をかけて双方で活動していきましょうという方向に持っていければと考えております。

加藤教育長 実践交流が指すのは県教委の研修だけじゃなく、教育振興運動集約集会や地域学校協働本部がやっているライザップの活動や家庭教育学級も実践の一つとなるのではないかと思います。そうすると、市教委としては何を行っているのか。県教委主催の研修の話だけであれば書く必要がないのではないかと。納得するところもあるけれど、説明になっていないような気がするのですが。

長畑教育企画課長 実践という部分では、全てではないですが教育振興運動のまとめに記載しているものもあります。仁左平地区の活動は正に実践しているものです。その情報提供としては、具体的にしているものではなく冊子を見ながら、ということになるのでそのような表現にしたものです。市でできるのはそのサポート・支援までと思っています。今回であれば研修の参加を促す、というところまで。今後、できることがありましたら見つけながら支援していきたいと思っています。

加藤教育長 槻館委員、いかがでしょうか。

槻館委員 学校運営協議会、メンバーは今までの評議員と違った意識で入っているのでしょうか。弱いのではと感じます。市はもう少し入り込める立場であると思うので。教育振興運動と同じなのであれば学校運営協議会は設置しなくてもいいのではと感じますし。もう少し整理する必要があるのではと思います。

長畑教育企画課長 字句についてはもう一度整理したいと思います。

加藤教育長 槻館委員、どうぞ続けていただいて。

槻館委員 9ページの学力向上の部分。国語の実績値が令和4年度の小学6年生で全国学調106、その子たちが中1になった令和5年度に県学

調 107 になっています。伸びているということをもっと強調してもよいのではないのでしょうか。

**坂本学校教育企画監** 全国学調は国を 100、県学調は県を 100 とした数値になっており、基準が異なるため伸びたとは言えないものです。経年比較という視点は大事だと思うので、今後も調査していきたいと思います。

**槻館委員** 分かりました。

**加藤教育長** 数値化できない事業もいっぱいあると思います。次回の数値目標の設定については吟味していかなければならないと感じています。続いてお願いします。

**槻館委員** 10 ページ。不登校児童生徒数をみると、不登校の割合が高く目標からかけ離れており、大きな問題だという気がします。B にしていいのか、C でもよいのではと思いました。もっとよい方向にもっていく意思を見せるような必要があるのかなと思いました。

**長畑教育企画課長** 目標から遠い部分もあります。数値は明確に目標を設けてやっているわけですが、5 年度の取り組みとしては教育支援センター設置に向けた体制づくりを行って、結果的には 6 年度でセンターが福岡中学校内に設置されています。その準備を行ったということで B 評価としました。

**加藤教育長** 「豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり」に対して B となるのでしょうか。個々をみると評価が分かれるけれど、大きなくくりで見れば均して B でよいのかとも思っています。なかなか評価しづらいと。難しい話ではありますが。

**槻館委員** こんなに不登校数が多いと適応指導教室の在り方も問われかねないと思っています。不登校対策を行っていても、この数字が出てくることで低く評価されてしまうことが懸念されると思いました。教委としてきちんと受け止めて、もう少し意思を見せることが必要なのかなと思います。

**長畑教育企画課長** 以前であれば不登校児童は学校復帰を目指していましたが、今は社会的自立という、学校に行かなくても将来社会に出て生活できるようにというところで、この数字が少しずつ上向いてきている傾向にあるのかなとも感じています。最終目標が学校復帰であれば、強くこちらでも取り組んでいかなければならないと感じていますが、空き教室や別教室、おあしす、自宅の活動も認められてきている現状から、難しいと感じています。



加藤教育長

学力は高いけれど不登校になる子どもが二戸市は多い。いろいろな項目に肯定的に回答する子どもも多いのになぜか、と悩ましく感じています。阿部委員。

阿部委員

ゴールが様々になったと思いますが、現場の方々も自立に向けて手を尽くしていると思うので、不登校という一つのくくりにするのではなく、スモールステップといいますか、空き教室には行っているとか、細分化して数値化できることがあれば、示していてもよいのではないかと感じました。

もう一つ、不登校支援会議が年2回とありますが、不登校児童生徒の数の割には少ないのではないかと感じました。現場レベルでの会議は多いのかもしれないですが、他にも会議があるのであれば書いてもよいのではと思いますし、回数を増やしてもよいのかもしれないです。二戸市として課題と認識し、力を入れているんだということがもう少し分かればいいなと思いました。

長畑教育企画課長

教育支援センターは令和6年度からの設置になりますので、一年を通してどのような形になるのか見ながら評価していきたいと思っています。不登校支援会議は令和6年度より始めたものですので、まずは2回やって、必要であれば増やすことも考えたいと思います。校内でもその都度対策は行っているものと思いますので、状況を見ながら対応していきたいと思っています。

加藤教育長

以前いた学校での記憶ですが、先生方何人か集まって支援を要する子どもについてのケース会議を隔週で行っていたと思います。学校では短いスパンでやっているかとは思いますが。

続いて、槻館委員をお願いします。

槻館委員

12 ページの肥満傾向児童生徒の割合についてです。肥満に対する意識は家庭でも高くなっていると思うのですが、コロナ禍や熱中症対策ということで、運動量が少なくなっていると感じています。金田一中学校のプール開放も7月いっぱい終わるという話も聞きました。学校でも業間時間を使って5分なり10分なりいろいろやっちはいるようですが。この数値目標をなしにしてもよいのではと思うくらい大変なことで、市教委で変えていくのは無謀ではないでしょうか。

加藤教育長

二戸地区の医者の方の集まりの時に、全国比でもものすごく肥満の割合が高くなっていると聞き驚きました。コロナ前までは下がっていたが、コロナ明けで上がっていると聞きました。二戸市も右肩上がりのようなようです。中学生は女子が高くなっているようです。小学生は男女とも高くなっていたはずですが。

長畑教育企画課長

健康福祉部の会議でも、なぜこんなに高くなっているかという話が出ていました。肥満については未就学児の段階から園をまわって指導したりしているようですが、結果としてはコロナなりの要因が重なっていることと、さらに昔のようにクラブ活動に必ず参加しなくてもよくなったことで運動の機会も減ったり、天候のことであったり、肥満についてはあまりよくない環境が出てきているなど感じています。保護者の意識も必要になるので、市でも研究大会や関係機関等と連携しながら、継続的に活動していきたいと思います。

加藤教育長

続けてお願いします。

槻館委員

17 ページの教職員の働き方の部分で、時間外勤務が月 80 時間以上の教職員に産業医による面接指導を 5 件実施したとありますが、この仕事の内容と、どの程度であればよしとするのか教えてください。

長畑教育企画課長

端末を起動・終了させることで在校時間を把握し、月 80 時間以上が 4 カ月続いた場合、また学校長が特に認める場合には産業医面談の対象となるもので、4 名が実施しました。一戸病院の精神科医が 30 分程度指導をし、内容については市教委を通じて校長先生にも報告しています。月 45 時間以下が基準とされています。

槻館委員

4 名の方たちの仕事の中身はなんでしょうか。もし分かれば。

長畑教育企画課長

人によって様々と認識しています。時期にもよると思いますし、中学校であれば部活動も要因になってくると思います。

加藤教育長

月 45 時間以下の根拠は何でしょうか。何をもってよしとするか難しい気がします。ちなみに民間事業所では残業にどんなイメージがありますか。

阿部委員

教職員と行政が残業の多いイメージがあります。残業はあるものだという概念もなくなっていると思います。残業してはいけない、残業して偉いという感じではなくなったのではないのでしょうか。

立花部長

月 45 時間、年間 360 時間以内という国の基準が前提にあり、それに沿って進めているものです。ゼロになるのが理想ではありますが、現実的ではないので、まずは 45 時間の範囲の中で可能な限り減らしていくということになると思います。

加藤教育長

次お願いします。

**槻館委員** 19 ページの地域学校協働本部のところで、推進委員を各学校に配置できないのは、学校が拒否しているのでしょうか。それとも人材が見つからないのでしょうか。

**漆田生涯学習課長** 市教委としては増やしていきたいと学校と調整していますが、なかなか地域の方で人材が見つからないという状況です。

**加藤教育長** 次お願いします。

**槻館委員** 22 ページの図書館の部分で、貸出冊数でBと評価しているものと思うのですが、冊数だけでなく、いろいろな役割があって機能は十分果たしているのではないかと思うのですが、来館者数なども押さえておけばだいぶ評価を上げてよいのではないのでしょうか。来館者数は把握していますか。

**土屋図書館長** 来館者数は毎月統計として出しております。コロナで令和元年から4年度までは減少していましたが、令和5年から5類移行となってイベント等も再開させ少しずつ人数が戻ってきているところです。5年度に入ってやっと微増という形でデータとして出ているところです。原因は究明中ですが、当館に限らず県内の図書館でも、来館者数は少しずつ戻ってきているのに貸出冊数は減っているという現象がみられます。

来館者数の出し方は館によって異なりますが、当館の場合、貸し出しにつながらず館内を利用した人については不確かな人数になるため、公表している数字は貸し出しにつながった来館者のみとしています。現実的には館内で読んで帰られる方もたくさんいらっしゃるので、その数字にプラスされることになると思われます。学習室を利用した方は「利用人数」にカウントされます。ある程度の人数はチェックしていますが、人数を把握する時間以外の出入りも考えられるので、公表には至っていません。

**加藤教育長** 毎日図書館に来て読んで帰っていく人もいるかもしれないが、カウントはされないと。数値目標の難しさがありますね。

**土屋図書館長** 図書館を利用してもらうことが一番の目的であると思っております。評価というものを考えた時に何がいいのか、次回の計画の時には数値目標の設定で、どれを目標に持ってきたらよいか検討したいと思います。

**槻館委員** 電子的な利用もあるのでしょうか。

**土屋図書館長** 電子書籍は当館では導入しておりません。県内では導入するところが少しずつ増えてきているようですが、システムの構築や書籍自

体が紙媒体の3倍くらいの金額になってしまうので、導入した場合どのように次につなげていくか、また蔵書についても除籍も含めながら管理しているので、周りの状況も見ながら考えていきたいと思っております。

加藤教育長 他にはありますか。

荒谷委員 22 ページのシビックセンターのところで、自主事業もいろいろやられているようなんですが、せっかくなので来場者数など見えるものがあればよいのかなと思いました。25 ページの文化会館も同様です。

漆田生涯学習課長 計画の部分ではそういった数値までは公表することになっていませんでしたので記載していませんでした。次回の数値目標設定の際に検討したいと思います。

加藤教育長 目標設定ではないにしても、現状報告としてカッコ書きで参考として書いてはいけないのでしょうか。

立花部長 参考数値という形で表記していくこともよろしいと思います。分かりやすくしていくために、参考として記載することも検討したいと思います。

加藤教育長 他にございませんか。

佐々木委員 28 ページの資料館、収蔵庫の環境整備の部分で、これまでC評価としていたものがB評価に上がったのは、具体的にどのような進展があったのか説明がほしいなと思います。Bになった理由がここに書いてあるだけでは分かりづらかったです。

柴田文化財課長 収蔵庫の進展につきまして、令和5年度は担当課・部と文化財課、文化庁等含めまして、基本的な方向性の整理を行ったところです。それにつきまして承諾を得たということでB評価としております。この時点におきまして、収蔵庫の具体的な事業等はしておりませんでしたので、完成到達点を収蔵庫の改修とした場合にB評価としたものでございます。現在事業化して収蔵庫改修の準備及び設計に取り掛かっておりまして、今年度の事業として着手しております。

佐々木委員 ありがとうございます。

同じく 28 ページ、歴史民俗資料の活用として、活用の部分で書いてあるのは企画展の部分だけだと思うのですが、展示物についてすごく分かりやすく解説した資料や館内報のようなものがたくさんありました。そういった成果も盛り込んでいけばよいのではと思

いました。

また入館者について、浄法寺の資料館は目標に対して100%を超えているのにB評価で少し残念でした。そもそもの二戸1000人、浄法寺800人という目標設定はどうだったのかなと思いました。

#### 柴田文化財課長

資料の活用という部分につきましては、過去に二戸の資料館では「このへ物語」「新このへ物語」の講座の資料をまとめて冊子にして図書館に配架し、活用を図っていたところでもあります。展示につきましても細かくバージョンアップを図っているところでもあります。毎年実施している企画展につきましても、配布資料として常時用意をするなど、制約のある中でもできる範囲で取り組んでいるところでもあります。年2回の歴史民俗資料館運営委員会等でも課題として扱っていきたいと思います。

数値目標につきましては、令和元年度は1000人前後の来館者数の実績がありました。平成30年度は二戸の資料館で905人、令和元年度は1,234人という数字になっておりまして、コロナ禍等で大きく減少しそれが回復できていないという状況です。浄法寺の資料館は、立地条件の良さや日本遺産の影響もありまして、順調に安定した来館者をみているというところなんです。こういった課題を整理したうえで、入館者数の目標について適切なものを検討してまいります。

#### 阿部委員

20ページの放課後子ども教室で、イベントの参加児童満足度が90%以上で評価Aということですが、普段利用している方の満足度はどうなんでしょうか。周りから話を聞く限り90%もないような気がします。指導者対象の研修も行っているようですので、引き続き寄り添った指導をしていただければと思います。質問ですが、児童クラブとの交流が増えている印象ですが、ここは分ける必要があるのでしょいか。今後どのようにお考えなのか教えてください。

#### 漆田生涯学習課長

いろいろなご意見があるということで、後で教えていただければと思います。放課後子ども教室は放課後の居場所づくりということで、児童クラブとは設置の意味合いが異なり、児童クラブは土日や長期休業期間も開設されています。放課後ということで活動時間も重なるため、合同イベントという形で昨年度開催したものであります。大変盛況でありましたので、今年度につきましても引き続き実施していきたいと思っております。

#### 荒谷委員

30ページのスポーツの部分で、数値目標の達成状況からと思いますが、この3年間ずっとB評価としています。今後の方向性を見る限り、このままでは来年の評価もBになるのではないのでしょうか。数値目標も考えていく必要があるのではないかと思います。

漆田生涯学習課長 数値目標に対してBという評価をしたものであります。次回計画の際は数値目標の設定について考えていきたいと思っております。

加藤教育長 他に、質問はありませんか。

委員一同 なし。

加藤教育長 それでは、議案第3号「教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価について」は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

加藤教育長 ご異議ないものと認め、議案第3号は原案のとおり可決いたします。

## 日程第6 報告第1号「二戸市教育委員会の後援・共催等について」

加藤教育長 日程第6 報告第1号「二戸市教育委員会の後援・共催等について」を議題といたします。  
報告第1号の説明をお願いいたします。

漆田生涯学習課長 【資料説明】

加藤教育長 説明が終わりましたので、質疑を許可したいと思います。

槻館委員 前回と同じで、申請から開催まで時間がないものがあるようですが、なぜでしょうか。

漆田生涯学習課長 ギリギリになって要項が固まってから申請を受けたものになります。事前に話は来ていたものでございます。

槻館委員 分かりました。

加藤教育長 他にございませんか。

委員一同 なし。

加藤教育長 ないものと認めまして、報告第1号は説明のとおりといたします。

以上で、予定されていた案件は全て終了いたしました。他に何かありましたらお願いいたします。

委員一同                   なし。

加藤教育長               ないようですので、次回の教育委員会定例会の日程を決めたい  
と思います。事務局お願いいたします。

長畑教育企画課長       事務局では、9月26日（木）午後2時から開催したいと考  
えております。以上、よろしくお願いいたします。

加藤教育長               事務局から以上の提案がありましたが、いかがいたしますか。

委員一同                   異議なし。

加藤教育長               それでは、次回の教育委員会定例会は、9月26日（木）午後2  
時より開催することと決しました。  
以上で、令和6年第8回二戸市教育委員会定例会を閉会いたし  
ます。

【閉会 午後3時55分】